News Letter



2025年12月3日

大和ハウスベンチャーズ株式会社 東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1 代表取締役 鈴木 哲雄

建設現場での人手不足解消に貢献 建設用 3D プリンタを開発する「Polyuse」に出資

大和ハウスグループの大和ハウスベンチャーズ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:鈴木哲雄、以下「大和ハウスベンチャーズ」)は、2025年 12月3日、大和ハウスグループ共創共生1号投資事業有限責任組合 *1 (以下「シナジーファンド」)を通じて、建設用3Dプリンタを開発する株式会社Polyuse(本社:東京都港区、代表:岩本卓也・大岡航、以下「Polyuse(ポリウス)」)へ出資しました。 *1 、大和ハウスベンチャーズが運営するコーポレートベンチャーキャピタルファンド







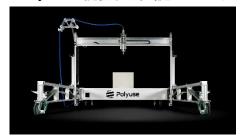
建設業では人手不足の深刻化とともに高齢化が進み、雇用確保の観点からも労働負荷の軽減が喫緊の課題となっています。このような課題に対し、Polyuse は「建設業界をテクノロジーでアップデートする」というミッションのもと、建設現場における省人化や安全性向上などを目的に建設用 3D プリンタのワンストップサービスを提供しています。

Polyuse が展開する 3D プリンタ事業では、建設用 3D プリンタ (ハードウェア)と、設計から施工までを支援する操作システム (ソフトウェア)、専用モルタル (マテリアル)を一体的に提供しています。

同社はハードウェア・ソフトウェア・マテリアルをワンストップで提供するため、導入企業は煩雑な手続きを軽減して 3D プリンタを活用できます。3D プリンタを用いることで、従来は熟練技術者の高度な技能に依存していた複雑な形状の構造物も造形可能となり、災害復旧現場や人手不足が深刻な建設現場での施工効率化や工期短縮につなげることができます。さらに、同社はシステムのデータベースなどに蓄積した全国の施工実績を活用した導入支援を行っており、新たに導入する企業は過去事例に基づく最適な施工方法や効率的な運用を実現できます。

大和ハウスグループは Polyuse 社への出資による事業共創を通じて、建設領域の工業化技術の向上 と DX を推進し、持続可能なまちづくりに貢献していきます。

●Polyuse が提供する建設用 3D プリンタ事業



【ハードウェア】 印刷制御や可搬性に優れる3Dプリンタ



【ソフトウェア】 操作システム



【マテリアル】 現場要件に応じた専用材料

■シナジーファンド(正式名:大和ハウスグループ共創共生1号投資事業有限責任組合)の概要

「シナジーファンド」は、大和ハウス工業株式会社の創業 100 周年となる 2055 年の"将来の夢" (パーパス) の実現に向けて、大和ハウスグループの既存事業強化・拡大につながるスタートアップ への出資や協業などを目的としています。

所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
ファンド総額	50 億円(キャピタルコール方式)
運用会社	大和ハウスベンチャーズ株式会社(自社運営)
ホームページ	https://www.dhgfuturefund.co.jp/synergy-fund/

■会社概要

1. 大和ハウスベンチャーズ株式会社

会社名	大和ハウスベンチャーズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 哲雄
設立	2023年11月
主な事業内容	CVC ファンドの運営、スタートアップ支援及び協業促進
	上記活動と連携する事業開発の推進
ホームページ	https://www.daiwahouseventures.co.jp/

2. 株式会社 Polyuse

株式会社 Polyuse
東京都港区浜松町 2-2-15 浜松町ダイヤビル 2F
岩本 卓也・大岡 航 (代表取締役/共同創業者)
2019年6月
100,000,000 円
建設用 3D プリンタを中心とした建設業界特化型の技術開発及びサービ
ス提供
https://polyuse.xyz/

以 上

お問い合わせ先					
大和ハウスベンチャーズ株式会社	0 3	(5214)	2020		